

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスやまびこ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年3月1日 | | 2026年3月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年3月1日 | | 2026年3月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年4月2日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 常勤児童指導員2名、非常勤児童指導員2名、指導員2名で支援体制を確保しており、手厚い支援が来ていることを評価頂いている。個々人のスキルアップを継続的に図ることでより良い支援を実施することができると考えている。 | 定期的な内部研修や外部研修への参加を促しながら参加することで、支援員の知識とスキルを向上することが出来ている。 | 利用児童には自分で出来ることはしてもらうように支援している。支援員は見守るようにしており、出来ないことを諦めるのではなく、出来るようになるために考えて利用者の能力が向上するための取り組みを継続していく。 |
| 2 | 祝日や長期休み際には水族館や科学館などへ出かけることで集団行動や体験することの楽しさを感じてもらっている。 | 学校生活では体験することが出来ない少数での集団行動や利用体験・見学体験などを通じて関係づくりやルールの遵守などを伝えている。 | 年長者が引率をできるように支援員が促すことで利用者間の関係性の構築や施設でのルールなど経験を通じて学べるような支援を実施していく。 |
| 3 | SNS(Instagram)を活用して利用時の様子や活動内容を写真とともに保護者へ伝えるようにしている。 | アンケートで個人情報が漏れてしまいそうなことがあるとのご指摘を受けたのでしっかりと配慮して情報漏洩がないように心掛けている。 日々の活動が伝わるように写真撮影の方法などを職員間で話し合っている。 | 活動内容についてアンケートの情報から事業所での活動内容に反映できるように職員全員で考えて取り組んでみることも検討していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者会を実施したが参加者が少なかった。 | 令和7年度は6月11日(水)に保護者会を実施したが、参加人数が3名と少なかった。 午前中に開催をしたので仕事をしている保護者も多く参加率が低かったと考えられる。開催時間の検討が必要。 | 令和8年度は年に2回の開催を計画している。 令和8年度開催予定 第1回：2026年6月18日(木) 第2回：2026年10月22日(木) |
| 2 | 事業所主体の家族に対して家族支援プログラムや家族が参加できる研修会や情報提供の機会を提供することが出来ていない。 | 家族支援プログラムや研修及び情報提供の機会が提供できていないことが課題となっている。 それぞれの家庭で課題と感じている内容をしっかりと把握してタイムリーな情報提供ができるよう仕組みを構築する。 | 利用者本人が学校を卒業した後の進路や障害を持った人向けの保険の説明会など実施したいと考えている。 どのような情報が必要なのかを把握するために定期アンケートの実施を計画している。 |
| 3 | 放課後児童クラブや児童館との交流・障害のない子どもと交流する機会がほとんどない。 | 障害のない子どもと交流する機会を模索できていない。地域の学童や放課後児童クラブと交流するために必要な事を考えていく必要がある。 | 実際の交流することが可能なのか事前に確認してみる行動が必要であると考えている。 交流が可能な場合はどのようなことが出来るのかを一緒に考えてみることも必要。 |